

※鳳支部ニュース「ちぐさだより」で掲載されたものです

私が子どもの頃みた日本になるのは絶対ダメです

Nさん

私は昭和15年宮崎県都城近くの田舎に生まれた。戦争中のこといろいろ覚えていて、子どもだったので、意味は分かってなかったね。

隣のおっちゃんが村中の人に「おめでとー」とお祝いをされていた。おばちゃんは何も手につかない様子でズット泣いていた。何日かして村中でたすき掛けのおっちゃんを見送った。子どもが3人いたのにおっちゃんは帰ってこなかった。父は肋膜炎で兵隊にはいかなかった。近所から「あんたの家はえくなく、うちの人は天皇陛下に殺された」と言われたことがある。父の兄2人は兵隊にいき戦死、石ころになって箱に入って帰ってきた。母の兄は海軍兵で、目も足も片方なくて帰ってきた。周りから「たくさん恩給貰えてえくなく」とうわさされていた。

大きくなるにつれ、戦争していたからこんな悲しい酷いことがあったんだと分かった。ごく自然に「戦争はあかん」という気持ちが強くなっていったような気がする。いまアベさんはアメリカの言いなりになって今年中にでも憲法を

「とも」の一昨年9月号に掲載した戦争体験手記募集を見て、お寄せいただいた手記を順次掲載しています。

私の戦争体験 (18)

寄稿

変え戦争をする日本にしようとしているようだ。私が子どもの頃にみた日本になるのは絶対ダメです。その為にも3000万人署名は成功させたいです。(談)

戦争で亡くなられた方、未来の子どもたちのために

Eさん

もの心がついた私の最初の記憶は、防空頭巾を被って空襲警報が鳴ると急いで近所の大人、子どもと一緒に防空壕の中に逃げ込む毎日から、防空壕も家屋も焼夷弾で焼かれ、幼い友達も大人達もたくさんの人たちが一瞬で亡くなってしまった事です。悲しみの涙で声もでませんでした。

戦後70年以上「憲法九条」のもとに戦争をしないで平和が守られていたのに、安倍首相らによる「憲法九条」の改悪で平和が脅かされようとしています。「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」の署名チャレンジャーになって、生き残った私は未来の子ども達のためだけに、亡くなられた方々のためにも全力を尽くして多くの人々へ訴え努力していく気持ちでいっぱいです。仲間の皆さんも一緒にガンバロウではありませんか。今ならまだ間に合います。

お楽しみクイズ クロスワードパズル

●応募方法／郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入のうえ、あて先／〒590-0082 堺市堺区大仙西町6丁184-2 友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてにて郵送ください。
●しめきり／2018年6月13日(水)消印有効
●当選発表／厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード5000円分)を、賞品の発送をもって発表に替えてさせていただきます。
●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください。

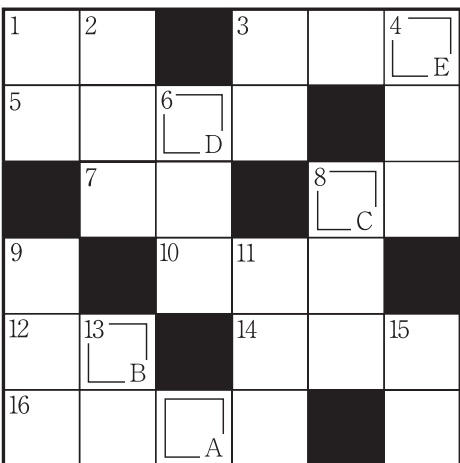
タテのキー

- ① 平和を象徴する鳥
- ② 最先端技術
- ③ 亀の〇〇より年の〇〇
- ④ 政党から離脱
- ⑤ 火災を防ぐ
- ⑥ 商い↓商家、農業↓?
- ⑦ 前人――の地
- ⑧ 離れて一つだけある島
- ⑨ 〇〇に陽に支える
- ⑩ 縦〇〇と横〇〇が紡ぐ柄
- ⑪ 〇〇入り娘
- ⑫ 卸売りの対
- ⑬ 国外――を図る
- ⑭ 金銀〇〇メダルを独占
- ⑮ ある鷹は爪を隠す
- ⑯ 低くなる。成績が――する
- ⑰ 〇〇と答え
- ⑱ 都市。――の雑踏
- ⑲ 悪天候により現在、全線――中止

ヨコのキー

- ① 〇〇入り娘
- ② 卸売りの対
- ③ 国外――を図る
- ④ 金銀〇〇メダルを独占
- ⑤ ある鷹は爪を隠す
- ⑥ 低くなる。成績が――する
- ⑦ 〇〇と答え
- ⑧ 都市。――の雑踏
- ⑨ 悪天候により現在、全線――中止

カギを解き、二重ワクに入る文字をABC順に並べてできる言葉は何?



●3月号の答「パラリンピック」
●応募数/98通

俳句

水の音や 花衣着て 魚跳ねる
水が流れての振返る身体に花の着を付け、魚跳ねたそれが花の着を着ているように見えた
晴天や 花を枕に 骨休め
仕事の途中公園の桜が咲いていました。花びらを枕にして一休みすると、心も穏やかになりました

川柳

初恋は 気おくうすれど 鮮明に
スマホをネ ボケぼうしにと 孫がくれ

短歌

木曜日 いつも楽しいプレバトを
見ては私も ない知恵絞る
*句を詠む時の情景や思いもお寄せください。
*俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2018年6月13日(水)です。
*特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。

山本 直美

奥田 君江

手嶋喜代子

手嶋 光生



ノーベル平和賞受賞 ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)国際運営委員 国際NGOピースボート共同代表

川崎哲さん講演会

日時 6月7日(木) 18:00~
場所 耳原総合病院2階 みみはらホール

現在、核兵器禁止条約批准国はキューバ・ガイアナ・パチカン市国・メキシコ・タイ・パレスチナ・ベネズエラ・オーストリア(国連に未提出)の8カ国です。条約の発効には50カ国の批准が必要です。民医連がこれまで行ってきたヒバクシャ国際署名等の取り組みをさらに進めたいために、ぜひご参加ください。

川崎哲(かわさきあきら)さん ピースボート共同代表。核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)国際運営委員。2008年から広島・長崎の被爆者と世界を回る「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」プロジェクトを実施。2009~10年、日豪両政府主導の「核不拡散・核軍縮に関する国際委員会」でNGOアドバイザーをつとめた。